

取組事例 地域一体となったサポートによる酪農業担い手の育成

(標茶町)

標茶町では、基幹産業である酪農業の担い手確保に向けて、町内関係機関が連携し、新たに設置した研修施設を核として新規就農者に酪農業の持つ魅力を学んでもらい、一人でも多くの研修生が町内で就農できる体制の構築を図っている。

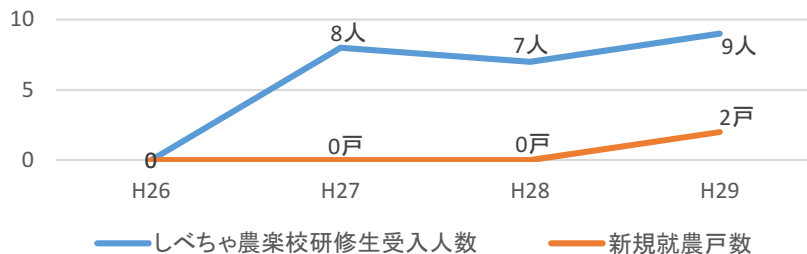
関連数値目標・KPI

	基準値 (H26)	実績 (H29)	目標値 (H31)	進捗率 (%)
新規就農戸数	0戸	2戸	5戸	40.0%
しべちや農楽校を利用した酪農体験者数	0人	50人	50人	100.0%

※実績及び目標値は、H27からの累積数

研修生の受入と新規就農の状況

研修生受入数と新規就農数



関係機関が連携し、研修生の受入体制の整備や、新規就農者への支援の充実を行ったことにより、標茶町での新規就農戸数が増加

取組事例 受入体制の整備や支援の充実

研修牧場、宿泊研修所の設置による受入体制の整備

○主な取組

- ・高齢化や担い手不足による酪農生産者の減少に歯止めをかけるため、平成27年4月に稼働したメガファーム「(株)TACSしべちや」に担い手研修牧場を設置。
- ・TACSしべちやの稼働に合わせて、町は研修牧場の向かいに就農希望者向けの宿泊研修施設「しべちや農楽校」を開設。就農希望者の受け入れのほか、農業系大学などの学生による短期の酪農体験も実施。



しべちや農楽校

○主な成果

- ・就農希望者が安心して研修に専念できる体制を整えたことにより、標茶町での研修生が増加し、新規就農者の確保へとつながっている。
- ・酪農体験を通じて、酪農への理解者を増やすとともに、将来的な担い手の確保を図っている。

手厚い支援体制の構築

○主な取組

- ・町や農協などの関係機関による、研修や就農、経営安定に対する支援・助成の充実
- ・町や農業委員会、農協、釧路農業改良普及センター、北海道指導農業士・農業士会、NOSA I から構成される「担い手育成協議会」による新規就農者に対するサポートの強化

○主な成果

- ・研修だけではなく、就農後も安定したサポートを受けることにより、新規就農への不安を解消する。